

平成22年11月29日

各位

西日本シティ銀行
NCB リサーチ&コンサルティング**消費者動向調査 No.107 「冬のボーナス使いみち調査」**

西日本シティ銀行(頭取 久保田 勇夫)は、消費者動向調査を定期的実施しております。今般、当行連結子会社 NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「冬のボーナス使いみち調査」を実施し、調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

記

調査時期：平成22年10月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人
(うち回答者480人、回答率96.0%)

調査結果要約

- ◆ **今年の冬のボーナス支給予想、昨年冬と比較して「多くなる」は3.4ポイント増加。「少なくなる」は13.2ポイント減少。**

昨年冬よりも、ボーナスが「少なくなる」と予想する割合は13.2ポイント減少し27.5%。
(調査結果本文2P)

- ◆ **冬のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で56.9%。2位は「旅行・レジャー」で33.3%。**

冬のボーナス支出予定1位は「貯蓄」の56.9%で、前年冬の60.7%より3.8ポイント減少。
(調査結果本文3P)

- ◆ **ボーナスを貯蓄する目的、1位は「将来の生活費補てんのため」が40.6%。2位は「老後資金の備え」が35.2%。**

経済の先行きや雇用に対する不安は依然強く、将来への備えが上位を占めている。
(調査結果本文4P)

- ◆ **ボーナスを貯蓄する場合の考え、「元本の安全性を重視したい」が49.3%で1位。**

円高や日本株式の低迷から安全性を重視する割合が引き続き高水準。
(調査結果本文5P)

- ◆ **関心がある金融商品、1位は「預貯金」で70.3%。**

「預貯金」が、平成21年夏よりの減少傾向から一転して、今夏より11.3ポイント増加して70%台へ。
(調査結果本文6P)

- ◆ **冬のボーナス、自由に使える金額は、昨年と比べ夫・妻ともに5千円アップ。**

ボーナスが「少なくなる」と予想する割合が減少したのを受け、自由に使える金額も増加するようだ。
(調査結果本文7P)

[調査結果本文はこちら](#)

以上

この調査に関するお問い合わせ先は
西日本シティ銀行 広報文化部 堺・大岡 TEL 092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 香椎 TEL 092-476-3051

当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。